



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 船橋 誠 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	141,805	△1.9	16,231	△24.5	19,587	△23.4	12,593	△23.8
26年3月期第2四半期	144,563	3.3	21,509	10.0	25,575	8.0	16,516	30.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 18,425百万円 (△33.6%) 26年3月期第2四半期 27,754百万円 (113.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第2四半期	155	34	155	27
26年3月期第2四半期	203	68	203	63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	740,549	627,267	83.0
26年3月期	728,442	611,933	82.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 614,469百万円 26年3月期 600,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	—	50	00	—	—
27年3月期	—	—	50	00	60	00
27年3月期(予想)	—	—	—	—	60	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	293,000	△1.0	29,000	△30.4	37,000	△27.8	24,000	△26.6	296	05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	90,139,653株	26年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	9,070,777株	26年3月期	9,065,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	81,071,340株	26年3月期2Q	81,091,384株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のOTC医薬品市場は、例年に比べ花粉飛散の収束時期が遅かったことにより鼻炎治療剤が堅調でしたが、ほとんどのカテゴリーが消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動などで落ち込んだことや、夏場が最需要期のドリンク剤が天候不順の影響により伸び悩んだことなどにより、総体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域にも積極的に取り組み、生活者のニーズを満たす製品の開発を進めています。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等新チャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品事業とドリンク剤事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

当第2四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、1,418億5百万円余（前年同四半期比△27億5千8百万円余、1.9%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	881億円	(△34億円)	3.7%減)
内訳			
国内	733億円	(△37億円)	4.8%減)
海外	135 "	(+ 5 "	3.5%増)
その他	13 "	(△ 2 "	10.7%減)
<hr/>			
医薬事業	537億円	(+ 6億円)	1.1%増)
内訳			
医療用医薬品	524億円	(+ 2億円)	0.4%増)
中間製品等	12 "	(+ 3 "	33.0%増)
工業所有権等使用料収益	2 "	(+ 1 "	85.8%増)
<hr/>			

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

#### <セルフメディケーション事業>

当第2四半期連結累計期間売上高は、881億円（△34億円、3.7%減）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、「リポビタンD」が夏場の天候不順の影響などにより前年を下回り（7.6%減）、シリーズ全体では353億円（6.1%減）となりました。風邪薬「パブロンシリーズ」は、鼻炎治療剤が堅調であったものの、主力の総合感冒薬が前年比マイナスとなり、シリーズ全体では99億円（4.1%減）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が大きく、シリーズ全体で67億円（3.7%減）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は83億円（6.0%増）となりました。

#### <医薬事業>

当第2四半期連結累計期間売上高は、537億円（+6億円、1.1%増）となりました。

主な増収品目は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」125億円（3.1%増）、骨粗鬆症治療剤「エディロール」76億円（27.1%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」15億円（488.1%増、平成25年8月発売）でした。また、本年5月発売の2型糖尿病治療薬「ルセファイ」は24億円と順調な滑り出しを見せております。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は55億円（18.6%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は35億円（11.0%減）と、薬価改定の影響もあり前年比マイナスとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益が減少したことや、広告宣伝費、販売促進費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は162億3千1百万円余（24.5%減）、経常利益は195億8千7百万円余（23.4%減）、四半期純利益は125億9千3百万円余（23.8%減）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ121億円増加し、7,405億円となりました。受取手形及び売掛金が12億円、建物及び構築物（純額）が13億円それぞれ減少しましたが、投資有価証券が130億円増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ32億円減少し、1,133億円となりました。繰延税金負債が29億円増加しましたが、支払手形及び買掛金が10億円、未払法人税等が56億円それぞれ減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ153億円増加し、6,273億円となりました。四半期純利益126億円、その他有価証券評価差額金57億円が主な増加要因であり、剰余金の配当49億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績等をふまえ、平成26年5月12日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正致します。

ー売上高

連結売上高予想を従来予想から60億円引き下げ、2,930億円に修正致します。セルフメディケーション事業では、市場の動向や「リポビタンシリーズ」等の売り上げ状況をふまえ54億円引き下げ、医薬事業では、中間製品等の受注状況をふまえ6億円引き下げます。

ー利益面

営業利益の予想を290億円（従来予想比15億円減）、経常利益の予想を370億円（従来予想比15億円減）、当期純利益の予想を240億円（従来予想比15億円減）に修正致します。売上高引き下げによる売上総利益の減少と、販売費及び一般管理費の見直しを予想に織り込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、計算に用いる割引率を、従業員の平均残存勤務期間に近似した単一年数の債券利回りに基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付に係る資産が3,736百万円、退職給付に係る負債が1,116百万円、利益剰余金が1,733百万円、それぞれ増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	145,320	152,960
受取手形及び売掛金	78,507	77,263
有価証券	14,084	14,041
商品及び製品	17,577	19,022
仕掛品	1,872	2,157
原材料及び貯蔵品	7,671	8,578
繰延税金資産	8,027	7,109
その他	8,424	4,709
貸倒引当金	△439	△477
流動資産合計	281,045	285,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,359	50,015
機械装置及び運搬具(純額)	9,611	9,267
土地	37,740	37,552
建設仮勘定	783	531
その他(純額)	4,085	4,111
有形固定資産合計	103,580	101,477
無形固定資産		
のれん	22,990	22,073
販売権	7,185	6,560
商標権	16,115	15,228
ソフトウェア	1,854	1,647
その他	631	578
無形固定資産合計	48,777	46,089
投資その他の資産		
投資有価証券	226,982	239,946
関係会社株式	51,778	51,761
関係会社出資金	1,174	—
長期前払費用	858	781
退職給付に係る資産	2,586	6,604
繰延税金資産	7,667	6,816
その他	4,216	1,912
貸倒引当金	△226	△205
投資その他の資産合計	295,037	307,617
固定資産合計	447,396	455,184
資産合計	728,442	740,549



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,859	26,894
未払金	14,783	17,488
未払法人税等	11,517	5,949
未払費用	10,411	9,915
返品調整引当金	518	499
賞与引当金	4,630	4,874
その他	6,330	1,667
流動負債合計	76,050	67,288
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,640	1,415
退職給付に係る負債	19,584	20,301
繰延税金負債	14,389	17,318
その他	4,844	6,957
固定負債合計	40,458	45,993
負債合計	116,509	113,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,269	15,269
利益剰余金	591,575	601,034
自己株式	△57,548	△57,591
株主資本合計	579,296	588,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,639	28,295
為替換算調整勘定	896	△210
退職給付に係る調整累計額	△2,750	△2,328
その他の包括利益累計額合計	20,785	25,756
新株予約権	180	298
少数株主持分	11,670	12,498
純資産合計	611,933	627,267
負債純資産合計	728,442	740,549

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	144,563	141,805
売上原価	53,901	53,108
売上総利益	90,661	88,696
返品調整引当金戻入額	517	515
返品調整引当金繰入額	499	501
差引売上総利益	90,679	88,710
販売費及び一般管理費	69,170	72,478
営業利益	21,509	16,231
営業外収益		
受取利息	2,627	2,646
受取配当金	607	677
持分法による投資利益	592	—
その他	406	416
営業外収益合計	4,234	3,739
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	—	255
為替差損	96	57
支払手数料	56	48
その他	12	19
営業外費用合計	167	383
経常利益	25,575	19,587
特別利益		
固定資産売却益	48	1,019
投資有価証券売却益	56	—
特別利益合計	105	1,019
特別損失		
固定資産処分損	15	310
関係会社清算損	—	39
特別損失合計	15	350
税金等調整前四半期純利益	25,665	20,256
法人税等	8,483	6,821
少数株主損益調整前四半期純利益	17,182	13,434
少数株主利益	665	841
四半期純利益	16,516	12,593

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,182	13,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,323	5,468
為替換算調整勘定	4,773	△1,117
退職給付に係る調整額	—	448
持分法適用会社に対する持分相当額	475	191
その他の包括利益合計	10,572	4,990
四半期包括利益	27,754	18,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,083	17,564
少数株主に係る四半期包括利益	671	860

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	25,665	20,256
減価償却費	5,208	5,608
のれん償却額	665	681
固定資産売却損益(△は益)	△48	△1,019
固定資産処分損益(△は益)	15	310
投資有価証券売却損益(△は益)	△56	—
関係会社清算損益(△は益)	—	39
受取利息及び受取配当金	△3,235	△3,323
支払利息	1	1
持分法による投資損益(△は益)	△592	255
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△85	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	721
前払年金費用の増減額(△は増加)	△8	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△4,018
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△43	△224
賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	244
売上債権の増減額(△は増加)	6,937	1,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,965	△2,674
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,472	△897
長期未払金の増減額(△は減少)	86	△27
その他	△2,262	2,374
小計	28,692	19,413
利息及び配当金の受取額	3,384	3,468
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△4,361	△11,800
法人税等の還付額	2,887	3,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,601	15,037
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,598	△1,221
有価証券の売却及び償還による収入	9,300	5,000
有形固定資産の取得による支出	△5,541	△3,208
有形固定資産の売却による収入	68	1,249
無形固定資産の取得による支出	△175	△183
投資有価証券の取得による支出	△6,000	△6,500
投資有価証券の売却及び償還による収入	141	0
子会社株式の取得による支出	△2,667	—
子会社株式の売却による収入	7	1
長期前払費用の取得による支出	△242	△147
その他	△10	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,719	△5,034

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	105	100
短期借入金の返済による支出	△70	△125
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△76	△53
自己株式の取得による支出	△50	△45
配当金の支払額	△4,850	△4,870
少数株主への配当金の支払額	△184	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,126	△5,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	946	△247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	19,702	4,605
現金及び現金同等物の期首残高	106,117	136,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	125,819	140,740

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,433	53,130	144,563	—	144,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,433	53,130	144,563	—	144,563
セグメント利益(注2)	19,960	2,151	22,112	△602	21,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	88,072	53,732	141,805	—	141,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	88,072	53,732	141,805	—	141,805
セグメント利益(注2)	15,302	1,529	16,832	△601	16,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。